

しんさか

発行 令和 8 年 9 月 18 日

編集 新坂自治振興区

TEL/FAX 08477-2-2252

HP <http://shinsaka.server-shared.com>

E-Mail shinsaka@vesta.ocn.ne.jp

令和8年8月末 世帯数 93 戸(前月比+1) 人口 163 人(前月比-3) 男性 73 人(前月比-2) 女性 90 人(前月比-1)

第63回東城地区総合スポーツ大会へ出場します!!

○日時 10月11日(日)

開会式 午前8時30分

○場所 東城中央運動公園陸上競技場

【競技種目】

ソフトバレーボール ソフトテニス

ソフトボール グラウンド・ゴルフ

東城タワー建設 モルック



昨年の「モルック」競技

成人研修(老人会合同)「大和ミュージアムと呉湾艦船巡り」を開催しました



くろべ(訓練支援艦)

9月2日(水)、呉市にある「大和ミュージアム」と「呉湾艦船巡り」を訪れ、呉の歴史や造船技術と現在の呉の海を見学しました。

「呉湾艦船巡り」では、船に乗り込み、海上から呉湾を巡ると、潜水艦や護衛艦を間近に見ることができました。呉基地が横須賀湾と並ぶ主要基地で「東洋一の軍港」と称された歴史をガイド案内を聞きながら学びました。

続いて「大和ミュージアム」では、全長 26.3mもある、10 分の 1 の戦艦「大和」の大きさに圧倒されました。他には、零式艦上戦闘機(略称「零戦」)や、人間魚雷「回天」などの貴重な実物のものが資料として展示されていました。目の前にすると、多くの方が命をかけることを求められた現実が身近に感じられ、戦争の悲惨さや命の尊さについて、改めて考えさせられました。



10 分の 1 の戦艦「大和」



零式艦上戦闘機(ゼロ戦)

市政懇談会が開催されました

9月3日（木）、市政懇談会が開催され、新坂自治振興区役員と事務局長が出席しました。市からは、「庄原ブランディングの推進～市民が庄原に誇りと愛着を持ち、幸せを実感できるまちづくり～」のテーマで、第3期長期総合計画でめざす将来像の実現に向けた主要プロジェクトについての説明がありました。

また、新坂自治振興区からの要望と、市からの回答を以下に掲載しますのでご一読ください。

【要望】市道三坂小学校線改良工事（新坂自治振興センターへの進入道路改良工事）の予定通りの実施について

平成23年度に公民館を廃止して自治振興センターへ移行したが、その移行に係る付帯条件としていくつかの要望を挙げている。その中の1つに「センターへの進入道路を、水没しないような位置へ整備すること」を挙げている。

その当時は、新坂地域の第1開設避難所の位置づけでもあり、早急に対応していただきたく、幾度も要望したがその思いはなかなかかなわず、令和2年からは、土砂災害-急傾斜地特別警戒区域かつ木造平屋建て、との理由で第1開設避難所から外された。とは言え、一時的な避難場所としての役割は果たせる施設であり、地域の拠点施設としての位置づけは変わらない。

令和6年11月になってやっと、関連する市道谷弘線の改良工事を含め建設課から計画の説明を聴くことができた。令和7年度に谷弘線部分の工事を行い、令和8年度に振興センターへ入る道を工事するとのことだった。

しかし、令和7年度には工事は何も始まらなかった。8年度になって谷弘線の工事が始まることになったが、振興センターへの進入道とは関連しないようである。

冒頭で述べたように、この要望は平成23年度の振興センター移行に係る付帯条件である。あれから15年もの月日が過ぎており、地域住民は長い間待たされ、高齢化も進んでいる。豪雨時の冠水の心配だけでなく、現状は、細く曲がった起伏のある道を大回りして振興センターへ入らなければならないことから、住民の中には、車の運転が怖いと言う人や冬場は車で通りたいくないと言う人もいうようである。毎年、冬場は早めに雪かきをして、雪が積もらないように、氷が張らないように努力している。

振興センターへの進入道工事については、令和8年度の発注工事予定に挙がっている。予定通りに実施していただきたい。

【回答書】

本市は、平成30年7月豪雨災害以降、災害復旧工事を最優先として実施し、令和6年度で完成したことから、一時中断していた道路改良工事を道路整備計画に基づき再開しております。

市道三坂小学校線に関しても、令和7年度において新坂自治振興センターへの迂回路に関して関係各所と調整を行いましたので、令和8年度・9年度で工事を実施いたします。